

# 年頭のあいさつ

いつまでも選ばれるまちで  
あり続けるために

市長 奥ノ木 信夫



あけましておめでとうございます。市民の皆様には、令和7年の清々しい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、石川県を中心に各地で甚大な被害をもたらしました。さらに9月には地震からの再建を目指すこの地域を記録的な大雨が襲い、二重の被害を受けた被災地では、今もなお、多くのかたが厳しい避難生活を送りながらも復興に向けて懸命な努力を続けておられます。被災された皆様には、改めてお見舞い申し上げますとともに、今後も被災地に寄り添い、応援職員の派遣をはじめとした支援を続けて参ります。

また、国内では長引く円安や不安定な国際情勢等による先の見えない物価高騰、「南海トラフ地震臨時情報」の発表や平均気温が過去最高に並んだ夏の猛暑など自然の驚異が市民生活に影響した一方で、オリンピックや世界の舞台での日本人アスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな感動を与え、日本中を明るく元気にしてくれました。そのような中、本市では、内閣府より「SDGs 未来都市」及び県内初の「自治体SDGs モデル事業」に選定されたことを受け、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの推進をはじめ、全ての市民の皆様が便利に利用できる「東川口駅前行政センター」の開所や誰もが支え合う地域づくりを目指す重層的支

援体制整備事業の実施、子ども医療費の対象年齢の拡充など市民ニーズを捉えた施策に加え、文化芸術の創造発信拠点となる川口総合文化センター・リリアの大規模改修と合わせた市立美術館の一体的な整備や、中距離電車のJR川口駅停車に向けた「川口駅再整備基本計画(案)」の策定など、本市の将来を見据えた施策を進めることができました。

備事業、川口市立高等学校建設事業の3大プロジェクトが完成いたします。さらに、埼玉県内の50メートル水泳場建設に合わせた(仮称)神根総合運動公園整備事業に本格的に着工するほか、引き続き災害に強いまちを実現するための都市基盤整備や防犯対策の強化、多文化共生の推進、働きやすいまちづくり、生物多様性の保全などの施策を積極的に推し進め、いつまでも選ばれるまちであり続けるための市政運営に全力で取り組んで参ります。

変化に対応し  
未来を拓くまちを目指して

議長 榊原 秀忠



あけましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表いたしまして謹んで新春のごあいさつを申し上げます。昨年は、年初に発生した能登半島地震のほか、各地を襲った大雨や台風によって、多くの地域が甚大な被害に見舞われました。被災された皆様には、改めてお見舞い申し上げます。また、国際的な原材料価格の高騰と、急激な円安の進行、さらには少子化による働き手の減少を背景とした人件費の上昇が重なることで、物価の高騰が長

期化し、市民生活や地域経済に大きな影響を与えました。一方で、夏のパリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会では、川口市ゆかりの選手が活躍し、新種目で金メダルを獲得するなど、歓喜に沸くニュースもございました。そのような中、本市議会を振り返りますと、一般質問においては、延べ54人が登壇し、JR川口駅への中距離電車停車に関する質問のほか多岐に渡り、さまざまな視点から多くの質問や提言が行われ、市民生活の向上のために活発な議論がなされました。

また、建設消防常任委員会において、土地区画整理事業の現状を調査し、今後の事業推進につなげるよう、本市議会としては11年ぶりとなる所管事務調査を実施いたしました。さらに、6月市議会定例会では、「川口市子どもの遊び推進条例」を議員提案によって制定いたしました。この条例は、子どもの遊びの必要性、重要性に関する理解を促進し、遊びの推進に関する施策を総合的に推進すること、未来を担う子どもが健やかに成長することを目的としており、現在の川口市に大変重要な視点であると考えております。これにより、本市の議員提案条例の制定数は13となり、その内容や件数の多さから、全国有数の政策提案型議会の一つとしての地位を得ております。

市議会といたしましては、時代の変化を見極め、子どものための施策はもとより、川口市の未来を見据えた各種施策を推進して参る所存でありますので、皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年の干支であります「巳」は、蛇をかたどってできた文字とされ、脱皮を繰り返して大きく成長する蛇にちなみ、「復活と再生」の年になるともいわれております。新しい年が市民の皆様にとりまして、明るく希望にあふれる飛躍の年となりましますよう心から祈念申し上げます。さつといたします。